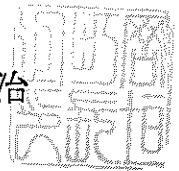


20岡建 第 751号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

岡垣町長 樋高 龍治



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の
件について、別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県岡垣町

本年5月13日に「道路特定財源に関する基本方針」が閣議決定され、これまでの道路特定財源を「一般財源化」することが政府の方針として示されました。

しかしながら地方においては、高速道路などの主要な幹線ネットワークの形成を初めとして、防災対策、通勤、通学さらには救急医療などの面において、道路整備は依然として必要不可欠なものであります。また地方道路は住民にとって生活を支え、命を守るなど社会資本整備の基盤となるものでありますが、今後は、過去に整備した道路の維持管理費の増大や老朽化した橋梁、トンネルの維持補修などさらに道路に係る財源を要する状況にもあります。

「道路特定財源に関する基本方針」の中では、「地方財政に影響を及ぼさないように措置する。また、必要とされる道路は着実に整備する。」とありますが、今後の道路整備や維持管理等に支障が生じないように、国においては道路財源を確保して頂くことが必要であります。とりわけ、現在の地方道路整備等における財源充当状況は「道路特定財源」で、4割強に留まっているのが現状であり、今後道路財源の「一般財源化」を議論するに当たっては、地方税分及び譲与税分はもちろん、「交付金」「補助金」として地方に配分される財源について「地方枠」として維持されることを期待するものであります。

道路は地域振興を進める上で、最も重要な社会資本であり、道路を軸とするまちづくりは欠くことのできない重要な施策であります。以上のことをご理解の上、道路財源の確保へ向けて取り組まれることを期待するものです。

②—1 地域の現状と抱える課題

福岡県岡垣町

○現状 ・ 岡垣町は、昭和40年代に造成された古い住宅団地内生活道路が、4m未満の狭隘な幅員であったり、急な道路が多く存在している状況です。これらの道路は、造成当時から蓋無しの側溝が設置されているため、現在の車社会において利用者は安全性に不安を感じている。また、高齢者や障害者の増加する中で通行に支障となっている。 ・ 高齢者及び障害者、いわゆる交通弱者の増加に伴い、中心市街地における幹線道路で歩道のない道路や、狭隘な歩道が多く円滑な移動に支障となっている。	○課題 ・ 通学路となっている団地内幹線道路及び道路幅員4m未満の狭隘な道路側溝を蓋掛けすることにより、道路幅員を確保し歩行者及び車両交通の安全性を図っているが、今後、整備率を高めるため財源の確保が必要となる。 ・ 中心市街地の幹線道路や、通学路となっている道路において、歩道のない道路や狭隘な歩道の整備を行い、交通弱者等の安全確保を図っているが、今後、用地取得に伴う費用の増大、又、工事費の高騰に伴い財源確保が必要となる。
---	---

②—2 地域を目指すべき将来像

福岡県岡垣町

① 人と自然とが調和した都市

岡垣町は、海・山・川と3つの自然的要素が備わった町です。現在でもこの要素は守られています。また、玄海国立公園は、本町だけでなく県全体からみても、重要な自然資源であります。豊かな自然環境に恵まれた都市として、今後とも保全していくとともに身近なインフラ整備を促進し、都市としての魅力を増していくことで、人と自然が調和した都市づくりが図られると考えています。

② 新たな活力の創設

岡垣町はこれまで、福岡都市圏と北九州都市圏との住宅都市として発展してきました。今後は、新たな付加価値を高めていくために、町の活力の源となる企業の誘致や新たな産業の構築、並びに町内や近隣市町とのアクセスの向上が重要と思われます。そのため、国道3号岡垣バイパスの4車線化、国道3号岡垣バイパスと国道495号とのアクセス道路や、広域幹線道路の整備を国や県の協力のもと、整備を促進し、岡垣町の新たな活力につなげていくものとしします。

③ 計画的なまちづくり

今後、安全で快適な暮らしができるように、幹線道路や一般道路の整備を進めるとともに、公共交通との利便性を高めていくものとしします。また、岡垣町がまちづくりとして進めている「コンパクトシティ」を実現させるために、広域道路や町内幹線道路等について、交通弱者に配慮した歩道等の整備を促進します。集落地内においては、生活道路の整備と利便性の向上を図り、海浜部においては、サイクリングコースや河川敷きを生かした周遊道路等の整備を促進し歩行者等のネットワークを確保します。さらに市街地周辺における無秩序な開発を抑制し、市街地内に残る未利用地や従来からの住宅団地の再整備を図るとともに、需要に見合った計画的なまちづくりに取り組んでいくものです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県岡垣町

○重点事項 (例)	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・国道3号岡垣バイパス4車線化事業 ・国道3号野間ランプ設置事業 ・(仮称)海老津・遠賀線道路改良事業 ・都市計画道路海老津・源十郎線道路改良事業 ・国道3号岡垣バイパス・国道495号アクセス道路 ・赤井手・東高陽線交差点改良事業 ・吉木・海老津線歩道設置事業 ・都市計画道路海老津・源十郎線道路改良事業 ・赤井手・東高陽線交差点改良事業 ・吉木・海老津線歩道設置事業	・町内及び近隣市町を結ぶ広域幹線道路の整備を進め、都市機能の充実と道路交通の快適性の向上と有効な土地利用による企業誘致を図る。 ・中心市街地内の幹線道路における歩道の無い路線を歩道設置することにより、歩行者等の安全確保を図る。 ・歩道改良工事における構造については、バリアフリー化を行ない、高齢化及び障害者等の歩行空間を確保し、交通の安全性及び利便性を図る。	